

中臺科技大学(台湾) 大学院生来校





2025 年 10 月 2 日(木)、協定校である中臺科技大学(台湾)で医療分野を専攻する大学院生のみなさんが来校されました。2019 年以来 6 年ぶりの来校となり、教員間では久々の再会を喜ぶ様子が見られました。





午前中は2グループに分かれ、各学科・専攻を巡って設備見学やレクチャー、体験活動などを行いました。参加者のみなさんは、機器の操作や身体を使った実験的体験を楽しみました。また実習室内の設備説明にも熱心に耳を傾ける姿が見られ、内容の充実したキャンパスツアーとなりました。

▼診療放射線学科 実験室見学の様子





▼リハビリテーション学科理学療法学専攻 「姿勢と動作の不思議」体験の様子





▼リハビリテーション学科作業療法学専攻 けん玉体験の様子





▼看護学科 実習室見学の様子





▼臨床工学科 内視鏡シミュレーター体験の様子





▼臨床検査学科 実習室見学の様子





午後のプログラムでは、本学学生と教員に向けて、台湾の医療制度や中臺科技大学内のデイケアセンターについての紹介が行われました。続いて本学教員より「日本の看護師不足について」の発表を行い、日本と台湾の医療制度の違いや、日本の看護体制について、活発な意見交換がなされ、有意義な交流の時間となりました。





今後はさらに連携を深め、教職員、学生の訪問や研修、研究などコラボレーション等、協定校として両大 学間の交流を活発化させていく予定です。



日本医療科学大学 国際交流研究センター